

# 住宅地の計画・設計

## 目 次

- 1 概要
- 2 計画・設計条件
- 3 提出物
- 4 図面表現上の一般的注意
- 5 スケジュール
- 6 実習遂行上の一般的注意
- 7 参考図書・資料
- 8 図面とレポートの形式

指導教官  
大村謙二郎, 小場瀬令二, 藤川昌樹, 村尾修, 吉田友彦, 渡辺俊

担当技官 / TA  
加島倫, 北原その美 / 池田陽祐

教 室  
3A-405, 3C-402, 403, 405, 406, 3C-107, 108

授業時間  
木曜日5～6, 金曜日3～5時限

## 1 概要

### 1-1 実習の目的

集合住宅の製図課題を通じて、図面の描き方、設計者の設計意図、間取り、住棟配置の収まり等を学習するとともに、住宅地の設計課題を通じて、地区スケールの計画・設計方法・デザイン技法・プレゼンテーション手法等を習得する。

### 1-2 設計課題の主旨

本年度の設計課題対象地は、常磐新線のターミナルとなる秋葉原駅に隣接した約2haの敷地である。神田市場が廃止された後、都営駐車場として暫定利用されてきたが、各方面で整備計画が検討されている。そこで、秋葉原という場所性を踏まえて、都心立地を活かした21世紀の新しいライフスタイルを見据えた新しい業務施設・都市居住環境を提案してほしい。具体的には、課題説明書の計画・設計条件に従って住宅施設その他を計画するが、アイデアに応じて計画・設計条件の変更を提案しても良い。

## 2 計画・設計条件

### 2-1 敷地の条件

- (1) 当該街区は、附図に示す通り。
- (2) 対象地面積 約25000m<sup>2</sup>

- (3) 神田明神通りの変更は不可
- (4) 都市計画道路・区画道路の拡幅後を想定

## 2-2 設計条件

### 2-2-1 住宅施設

- (1) 住棟形式： 特に定めない
- (2) 階数： 特に定めない
- (3) 構造： 特に定めない
- (4) 戸数： 400～600戸程度
- (5) 住宅規模： 4種類
  - 50.0m<sup>2</sup> 小規模世帯用 40%程度
  - 100.0m<sup>2</sup> 普通世帯用A 30%程度
  - 120.0m<sup>2</sup> 普通世帯用B 30%程度

### 2-2-2 商業・業務施設

駅前立地を活かした20000m<sup>2</sup>以上の商業・業務施設を計画する。  
単に必要な面積を確保するだけでなく、想定される商業・業務内容について提案する。

### 2-2-3 公共空地

まとまったオープンスペースもしくは広場を1500m<sup>2</sup>程度確保する。

### 2-2-4 駐車場

住宅・商業・業務用として計500台以上の「付置駐車場」を確保する。またこれとは別に、電気街来客のために500台以上の「中核駐車場」が設置されることが望ましい。

### 2-2-5 その他の施設

提案する新しい業務・ライフスタイルに必要と思われる施設を、各自で企画・提案する。

## 2-3 配置計画

各施設の配置計画は、周辺道路・歩行者動線・公園・近隣施設等について、敷地周辺の現状および将来変化を十分に考慮して行うこと。また、鉄道駅との関係についても考察すること。

## 3 提出物

### 3-1 中間提出物

#### 3-1-1 見学会レポート

- (1) レポートは、全てA4版を用いる。
- (2) 写真、スケッチ、および図面を利用して多面的にプレゼンテーションすること。

#### 3-1-2 製図課題

- (1) 図面は、配置図・平立面図・立断面図・平面詳細図の計4枚を配布する。
- (2) この内、平立面図・立断面図の2枚をケント紙にコピーする。  
希望者はコンピュータ(MiniCAD, JW-CAD)で描いても良い。

- (3) 配置図は着彩し、ショウ・ドローイングとして仕上げる。  
希望者は、コンピュータ(Photoshop, MiniCAD)で行っても良い。
- (4) 平面詳細図は、コピーの際の参考とする。
- (5) 学生にはA1のケント紙を2枚ずつ配布する。

### 3-1-3 中間発表会

- (1) 住棟等の配置計画・動線計画を示すエスキース図
- (2) ボリューム模型（スケール 1/500）
- (3) エスキースのためのトレーシングペーパーは、学生間で共有する。

### 3-2 最終提出物

#### 3-2-1 図面

- (1) 配置図（スケール 1/500）
- (2) 地区断面図（スケール 1/500）2面
- (3) 住棟基準階平面図（スケール 1/100）典型となる棟
- (4) 住棟立面図（スケール 1/100）典型となる棟 2面以上
- (5) 住棟断面図（スケール 1/100）典型となる棟 1面以上（原則として長手方向）

#### 3-2-2 設計説明書

- (1) A4版を用い、設計意図を書くこと。
- (2) 住戸・住棟計画、動線図、緑地計画図、周辺環境との関係について説明する。
- (3) 各施設の面積表を含めること。

#### 3-2-3 模型

- (1) プレゼンテーション模型（スケール 1/500）とすること。
- (2) B2版の木製パネルに仕上げ、立掛けても崩れないこと。

## 4 図面表現上の一般的注意

- (1) 図面のサイズは、全てA1版を用いる。パネル化はしない。
- (2) 図面用紙はケント紙または青焼紙の何れでも良い。
- (3) 図面はインキング・着彩等を施し、ショウ・ドローイングとして仕上げる。
- (4) 文章説明は、図面中に書き込むこと。文字も図面の構成要素として考慮する。
- (5) 図面には次の項目を必ず入れること。
  - スケール
  - 方位
  - 図面名称
  - 凡例
  - 学籍番号・氏名
  - テーマ名称「住宅地計画 2001」とする。

## 5 スケジュール

9月 6日(木)	課題説明・夏期研修報告
9月 7日(金)	講義（設計製図の基礎・渡辺） 製図 1
9月13日(木)	講義（集合住宅のデザイン・大村） 製図 2
9月14日(金)	見学会 1（晴海トリトンスクエア・設計課題地）
9月20日(木)	製図 3
9月21日(金)	製図 4 見学会 1 レポート提出
9月27日(木)	講義（集合住宅の設計方法・小場瀬） エスキース 1 製図課題提出
9月28日(金)	見学会 2（幕張パティオス）
10月 4日(木)	講義（模型の作り方・藤川） エスキース 2 見学会 2 レポート提出
[10月 5日(金)]	適宜作業：エスキース 3（環境計画分野修論中間発表会）]
10月11日(木)	作業 1
10月12日(金)	作業 2
10月18日(木)	作業 3
10月19日(金)	中間発表会
10月25日(木)	エスキース 4（環境科学研究科入試）
10月26日(金)	講義（住戸計画の基礎・吉田） エスキース 5
11月 1日(木)	エスキース 6
11月 2日(金)	講義（設計プレゼンテーション・村尾） 作業 4
11月 8日(木)	作業 5
11月 9日(金)	作業 6
11月15日(木)	作業 7
11月16日(金)	最終発表会（振り替え試験日）
11月30日(金)	設計課題最終提出

## 6 実習遂行上の全般的注意

- (1) 本説明書の内容やスケジュールは、必要に応じて変更や追加が行われることがあるので、常時掲示等に注意すること。
- (2) 提出図面等の成果物は各人が個人単位で作業し、作成するものとする。
- (3) 中間発表時の作品、最終発表時の作品はWWWに載せる予定である。

## 7 参考図書・資料

必要に応じてWWW上に参考資料等を掲示するので各人コンピューター上で見るように  
(但しハードコピーをやたらとしないこと)

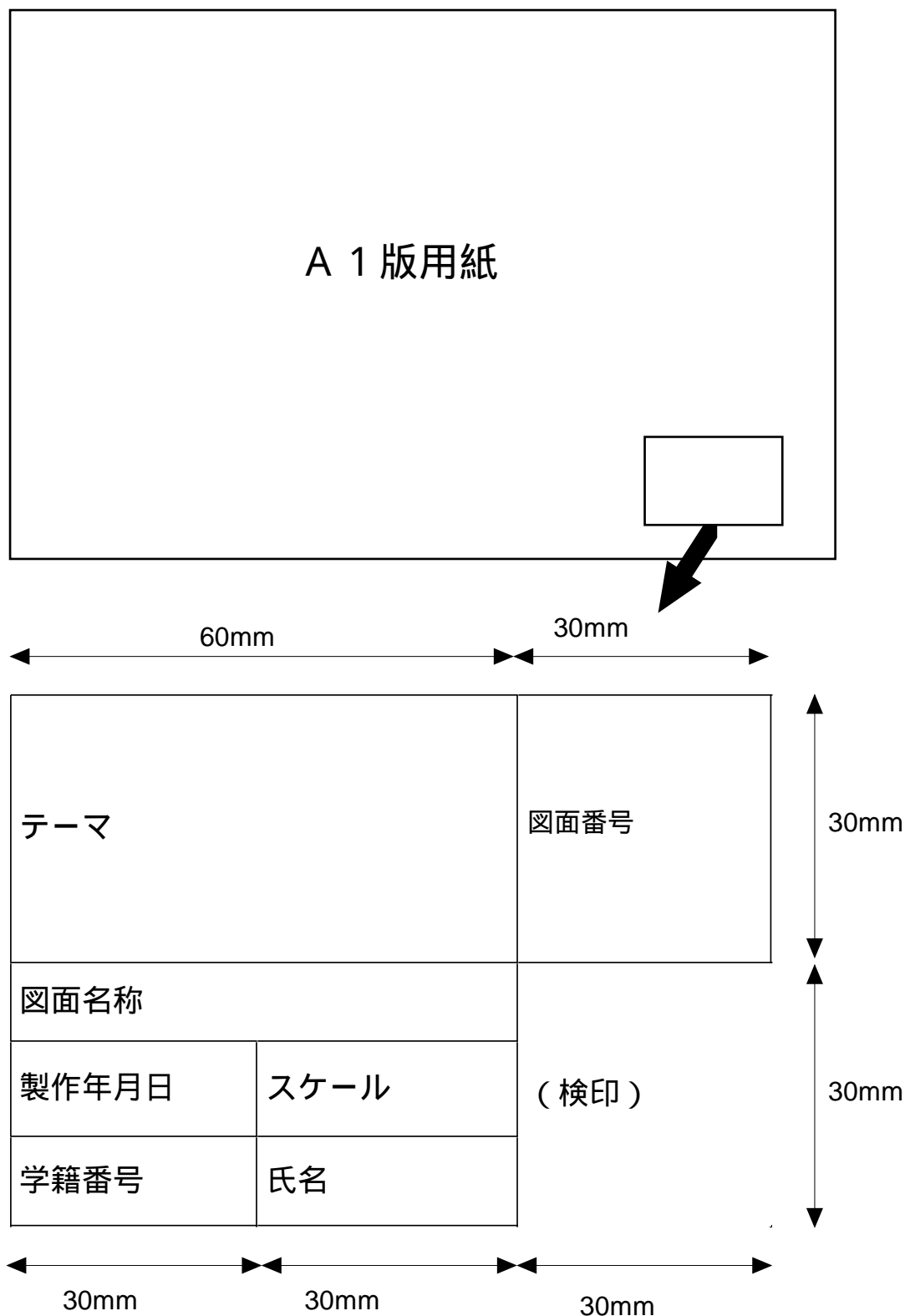
参考になりそうなサイト としては、たとえば

- ・「都市景観データベース」ならば先輩がつくってくれた  
<http://townscape.sk.tsukuba.ac.jp/>があります。
- ・学芸出版社の「建築・土木・まちづくりインターネットアドレスブック」  
<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/link/index.htm>
- ・Progress社の「海外ランドスケープフォトライブラリ」  
<http://www.aims-system.co.jp/progress/>  
有料のやつです。
- ・大京のQuickTimeVRを使ったページ「ヴァーチャルモデルルーム」  
<http://www.daikyo.co.jp/vmr/area/allarea.html>  
インストールが若干面倒ですが、それなりにおもしろいです。

ハードな本ならば、

- ・建築設計資料集成 日本建築学会 丸善
- ・タウン・デザイン フデリツクギバード 鹿島出版会 高瀬・高橋・日端・福川・平沢(訳)
- ・住環境の理論と設計 田畑貞寿・池田亮二 鹿島出版会
- ・建築設計チェックリスト 彰国社  
「集合住宅」
- ・都市の低層集合住宅 フーペルト・ホフマン 鹿島出版会 北原理雄訳
- ・タウンハウスの計画技法 高見沢・猪狩・永田 彰国社
- ・コミュニティとプライバシー S・シヤマイフ 鹿島出版会 C・アレキサンダー岡田新一訳
- ・都市計画図集 日本都市計画学会 技報堂
- ・土木工学ハンドブック 日本土木学会
- ・都市計画道路計画標準
- ・ランドスケープマニュアル
- ・都市住宅、建築文化、デザイン等の雑誌のバックナンバー
- ・建築術1～5建築術 編集委員会 彰国社
- ・建築設計ノート 西日本工高建築連盟編 彰国社  
共同住宅、公民館、体育館
- ・DA建築図集 日本建築家協会 彰国社  
低層集合住宅

## 8 図面とレポートの形式



注)

1. このサイズ (841×594) をA1版という。提出する図面は、全てこのサイズとする。
2. 縦、横の空欄は、図面の説明のための文章、数表、図表、スケッチ等を書き込むためのものである。
3. 提出するレポートは、全てA4版とし、表紙にはテーマ、学番、氏名、指導教官を必ず記載する。